



SDGsとファッションを
テーマに意見交換したセミ
ナー

服飾ブランドの活動は 児島で関係者が意見交換

**S
D
G
S**

児島でセミナー

「ステルフロート」で開かれた。服飾ブランドを手掛ける県内外の関係者3人が、自らの取り組みなどについて意見を交わした。

同施設を運営し、ジーンズを企画販売する「EVERY DAY」（倉敷市、岡山NPセンター主催）が26日、倉敷市児島唐琴町の宿泊施設「デニムホール」（同所）の島田舜介共同代表（25）は「愛着をもつてもらえるような製品作りを意識している」とし、「大にしている」と強調した。

京都府でチャリティ専門のブランド「JAMMIN」を運営する西田太一さんはオンラインで参加した。T

るシャツ1点につき700円など、全ての商品で売り上げの一部をNPOやNGOに寄付しており、「チャリティーがもつと身近になるように、できるこを行いたい」と話した。

の田賀朋子代表（30）は「支矢掛町浅海」は「支援になるからではなく、商品の魅力で購入してもらえるよう聴講。参加者同士の意見交換もあった。

（浪速祐彦）

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。